

gifunet

東京岐阜県人会・会報誌ギフネット

黄昏の坂道で

宿の灯りと夕焼けに
染まる茜色の宿場町。
四季は年々薄くなるけれど
四季の記憶は濃くありたい。

2024
AUTUMN & WINTER
vol.81

中津川市・馬籠宿
photo by:Gouma Midorikaze

大好きなこの街の
未来をつくろう。



◀CMギャラリーは
こちら



人と、地域と、未来をむすぶ

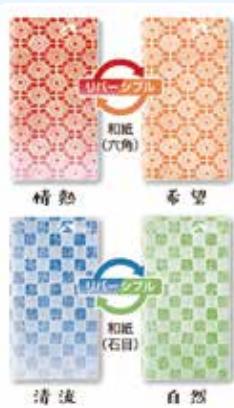
 **十六銀行**
16FG

2025年版「岐阜県民手帳」10月上旬から販売開始

表紙には、1300年の伝統を受け継ぎ、ブランド認定基準を満たした美濃手すき和紙(六角または石目)を使用し、カラーは、「情熱・希望」をイメージした赤と柿、「清流・自然」をイメージした青と緑が、各々両面使える2種類4色で、赤と青はグラデーション仕様になっています。

岐阜県の主な行事予定のほか、観光情報、暮らしに役立つ情報、人口の推移や各種統計等、岐阜県の役立つデータ満載のスケジュール帳です。

新しい年を、ふるさと岐阜の魅力をふんだんに盛り込んだ手帳と一緒に迎えてみてはいかがですか?



岐阜県のデータ満載

- 世界に誇る岐阜県の遺産
- 岐阜未来遺産
- 主な行事予定、道の駅、温泉等の観光情報
- 人口の推移や各種統計データから見える岐阜県情報

数量・販売場所限定

オリジナル表紙の県民手帳も人気

そらはく
空宙博モデル

お問合せ
岐阜かみがはら航空宇宙博物館
TEL(058)386-8500



関ヶ原モデル

お問合せ
岐阜関ヶ原古戦場記念館別館売店
TEL(0584)47-6030



詳しくはホームページをご覧ください [岐阜県民手帳](#)

検索

Index

ごあいさつ	3
夏のイベント「テレビドラマの作り手として」	4
理事会報告	7
岐阜現代美術館	8
ふるさと訪問記～新県庁舎	10
岐阜ゆかりのオリンピック選手ご紹介	11

ぎふ長良川花火大会／短編映画「アユラ」	12
第39回 国民文化祭／ぎふ総文	13
映画「初めての女」	14
岐阜県学寮「違う自分に会ってみよう！」	15
活動報告	16
同窓会に行こう！！	17

「文化イヤー」における「清流の国ぎふ」づくりの推進



岐阜県知事

古田 肇

東京岐阜県人会の皆さまには日頃より岐阜県政に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、去る7月31日から8月5日

にかけて開催しました、全国高等学校総合文化祭「清流の国ぎふ総文祭2024」においても、多大なるご支援をいただき、無事盛大に終えることができましたことに、改めて感謝申し上げます。

今回の総文祭では、美術作品の展示や演劇、合唱など計22部門に、全国から高校生約2万人、関係者や観覧者など約10万人という多くの方々にお越しいただき、まさに文化の大交流を実現する大会となりました。

そして、10月からは、国内最大の文化の祭典である国民文化祭「全国障害者芸術・文化祭『清流の国ぎふ』文化祭2024」を開催します。

地歌舞伎など本県自慢の地域文化や、白川郷・関ヶ原古戦場などの文化資源を活用した事業など300を超える事業を県内全域で実施しますので、是非足をお運びいただけますと幸いです。

両文化祭を開催する今年度は、本県にとっての文化イヤーであり、引き続き、岐阜県ならではの文化や地域資源の魅力発信に取り組んでいきます。

そのほか、「持続可能な『清流の国ぎふ』」を目指して、自然災害への備え、人や産業への未来投資、GX・DXへの積極的な取組みを進めるほか、「暮らしやすい『清流の国ぎふ』」の実現」に向けて、経済対策や暮らしの安全安心の確保・少子化対策についても強力に推進しています。

特に災害対応力の強化については、このたびの能登半島地震を踏まえ、4月に府内にプロジェクトチームを立ち上げ、課題の洗い出しや対策案の検討を行ったところであり、年内には「岐阜県強靭化計画」等の各種計画に反映し、県の防災対策に万全を期していきます。

また、若者の県内就職促進に向けて、県内企業に一定期間就業された方の奨学金の返還を支援する制度を本年6月より開始し、若者の県外流出、企業の人材不足に取り組んでいますが、このような「人への投資」についても、引き続き対策を進めています。

最後に、東京岐阜県人会の益々のご発展と、皆様の一層のご活躍、ご健勝を心より祈念いたします。

東京岐阜県人会会長就任にあたって



東京岐阜県人会 会長

林 信秀

この度、吉村泰典会長の後を受け東京岐阜県人会の会長に就任しました。まず吉村会長の十年にわたる県人会への多大なご貢献に深く感謝

申し上げたいと思います。

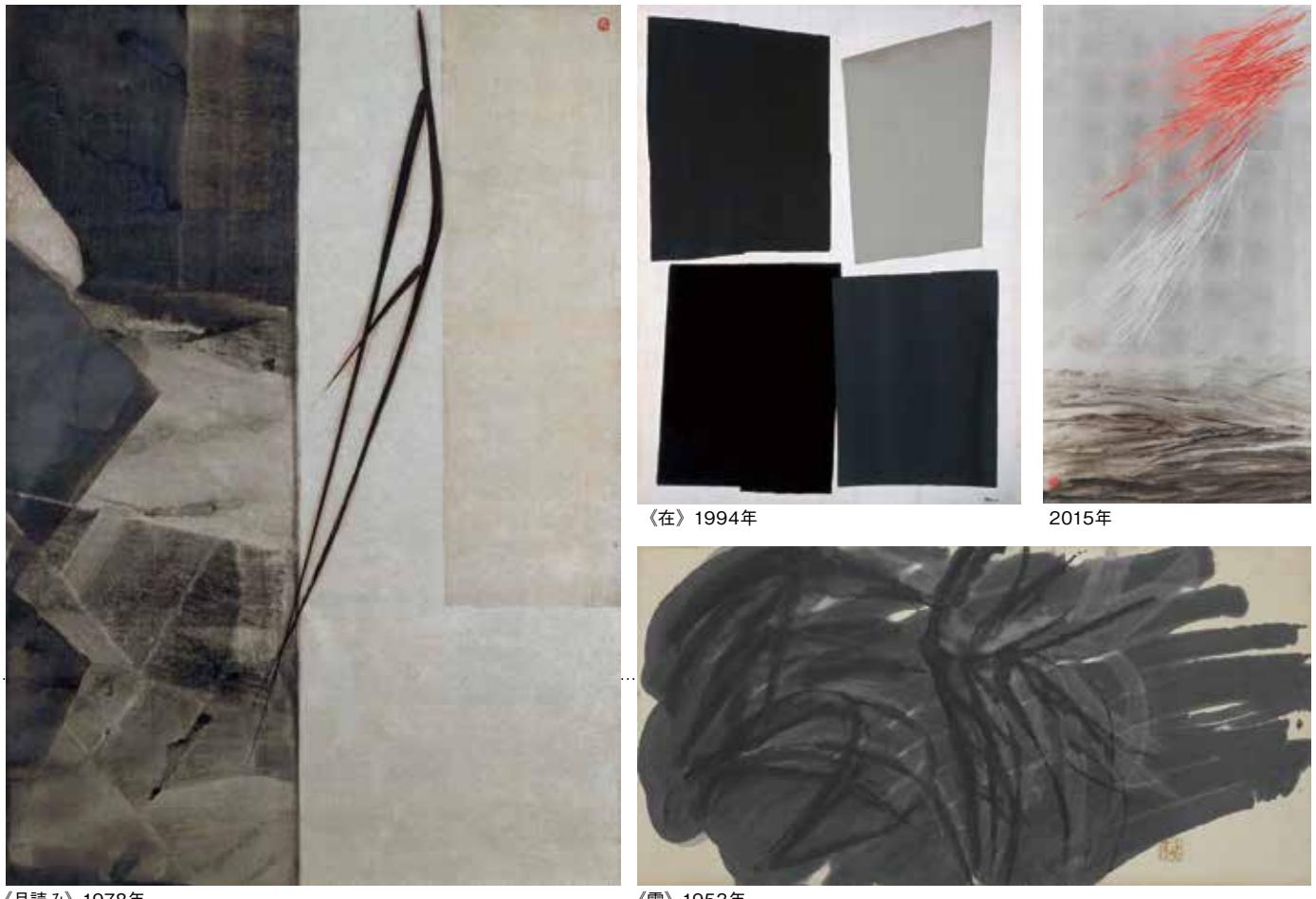
さて、岐阜県におかれては、これまで古田肇知事が県の発展に多大な貢献をされ、素晴らしい県政を司つてこられました。また岐阜県の魅力・素晴らしさの発信にも意を尽くされ、日本のみならず世界に向けて発信してこられました。知事をはじめとする県内各市町村長、議会関係者の皆様や岐阜県民の皆様の努力に少しでも報いる事がこの県人会の大いな役割でもあります。

今年度岐阜県では、「『清流の国ぎふ』づくり（確かな未来の創造）」を主題に、「①持続可能な地域づくり、②人への投資、③GX／DXの推進」に取り組まれ、今年十月から「清流の国ぎふ」文化祭2024（国民文化祭）も開催されると伺っております。

少子高齢化の中で、とりわけ地方を取り巻く環境が厳しさを増す中、各地域が知恵を絞り地域創成に努め、その魅力を発信することが極めて重要であり、在京の岐阜県出身者の会員の皆様も各分野でお手伝いできる機会は多々あると感じています。幸いこの県人会には、政界・官界・財界・学会等において活躍されておられる方々が多数お見えであり、郷土出身の皆様方と力を合わせて、ふるさと岐阜のさらなる発展の為に努力していきたいと考えております。

私自身は岐阜県高山市で生まれ、父親の転勤に伴い県内各地（神岡町・岐阜市・墨俣町・大垣市）を転居、大学から上京し以来ずっと東京と海外での暮らしを続けてまいりました。この県人会は故郷岐阜を離れて首都圏で頑張っている皆様の貴重な交流の場でもあります。郷里を同じくする人々が、新たな出会いを得て、公私ともに益々充実した日々を過ごして頂ければ望外の喜びであります。東京の一極集中化が進む中で、地方出身者がネットワークを広げて、実社会で活躍する機会を作っていく事は、人材の多様性の観点からも重要であると考えています。

これまでの本会の良き伝統を守り、本会の活動を通じてふるさと岐阜の発展に少しでも貢献できるよう微力ながら努力してまいる所存につき宜しくお願ひ申し上げます



《月読み》1978年

《雪》1953年

《在》1994年

2015年

桃紅館が春に 新たに開館した

岐阜現代美術館

館長 宮崎 香里

岐阜県関市桃紅大地に所在する岐阜現代美術館は、「岐阜から芸術・文化を発信する」との理念のもとに、岐阜現代美術財団と鍋屋バイテック会社が所蔵する篠田桃紅（1913-2021）の作品を展示するとともに、さまざまな切り口から桃紅とその作品の魅力を紹介してきました。2007年に開館して以来、さまざまな切り口で篠田桃紅展を開催してきたほか、非定期ではあるものの、コンサートやワークショップなどの各種イベントも企画・運営してきました。

篠田桃紅は、前衛書から墨による独自の抽象表現を切り拓いた美術家です。豊かな教養と感性に裏打ちされた作品は、国内に限らず欧米からも大きな注目と高い評価を得ています。桃紅は、中国の大連（旧満洲国大連）に生まれ、東京で育ちました。

現在、財団と会社が所蔵する篠田桃紅コレクションは1000点を超え、桃紅が書家として活動していた戦後間もない頃に制作された前衛

た。書家として活動していましたが、文字や書の枠に收まりきらない、全く新しい墨の表現を探求し始め、戦後まもなく1956年から約2年間、単身ニューヨークに渡り、表現の幅と活動の場を大きく広げました。帰国後は、一層自由な表現を確立し、壁画やレリーフといった建築にかかわる仕事をはじめとして、海外でも精力的に作品発表をこなしました。また、自由と孤独を愛した桃紅でしたが、美術家としてばかりでなく暮らしや装いの美しさが常に注目され、その孤高の美学と、エッセイに綴られた瑞々しい言葉の数々は、現在多くの人を惹きつけて止みません。

書の一群や激しく抽象の度を高めていく若き桃紅のエネルギー漲る作品から、世界に打って出ようという意気込みに満ちた1950年代の海外での個展出品作、「桃紅水墨」と呼ばれる独自のスタイルを確立した1970-90年代の作品群、年齢を重ね、洗練された水墨表現がさらなる高みに到達した2000年代の作品、日本の美意識の精髄が詠み込

まれた和歌を素材として、作品に文字が回帰し、桃紅独特の抽象によつて新しい表現がたちあらわれた晩年の作品までを収集しています。奥行と幅のあるコレクションによつて、80年間の長きにわたる桃紅の創作活動の全容を一望することができます。桃紅の創作の歩みや変遷、進化をたどりながら、それぞれの時代や社会の中で生まれた作品の意味や価値を読み解くことができます。

さらに今年、

東京都港区南青山

山のマンション

の一角にあつた桃紅のアトリエ

を、岐阜現代美術館に移設する

ところができ、桃紅の思索と創作

の場であつたアトリエの空気

とともに、膨大なコレクション

を鑑賞できる施設として、桃紅

111歳の誕生日である3月28日、1階に展示室と2階にアトリエを忠実に再現したスペースを備えた篠田桃



2階アトリエ

館として、岐阜現代美術館桃紅館が開館しました。美術館外観には、作品に多く使われている墨と銀を意匠にとりいた外壁は、深く奥行きのある墨の色を表現し、バイブルーション研磨したステンレスパネルは、和紙の上の銀箔の鈍く落ち着きのある輝きを表し、抽象的でモダン、キレのあるデザインとなっています。そして、黒と銀の立方体が重なる建物のかたちは、桃紅作品の特徴である、黒と色彩の対比や面と面の間に感じられる緊張感など、洋の東西を問わず世界中の人々を惹きつける現代的な抽象表現をイメージしています。



岐阜現代美術館桃紅館 外観

世界最大の桃紅コレクションを所蔵する財団として、作品保存と継続的な展示公開をしていくことと同様に、数々の代表作を生み出した現場であるアトリエは、大切な文化芸術資源として未来永劫、保存、公開していくべきものであると考え、作家の息遣いと静かな時間を感じるような忠実なアトリエ展示を目指し、部屋の天井材、床材、障子など内部空間を忠実に移設、復元しました。さらに「夜は夜らしく、闇のうつくしさ、あたかさを知るような灯を低くともしたい。」と桃紅がエッセイで記したように、桃紅にとって、室内に差し込む日の光の移ろいの繊細さを感じることは制作における重要な要素と捉え、アトリエがあつた方角もできるだけ忠実に再現しています。

大連に生まれ東京育ちの桃紅にとって、幼少のころに時々訪れた父のふるさと岐阜・美濃は、懐かしい地であり、桃紅にとつても心のふるさと、原風景でした。「桃紅大地」という名のついた岐阜の地に収集された作品、そして移設されたアトリエは、美術家・篠田桃紅がこの世を去った後も、時代を超えて多くの人々を静かに迎え、新しい感動を与えてくれるでしょう。

私たち財団は、日本と世界の美術史における桃紅およびその作品がもつ意味と価値を再定義することを目指し、これからもコレクションの充実と魅力的な企画展の開催を続けていきたいと思います。



清流ロビーからの眺望



壁ボーダータイル



挾土秀平氏の作品「岐阜に舞う」

2022年の東京岐阜県人会懇親会の場で知事から、2022年12月に竣工した新県庁舎の素晴らしいお話を伺いました。今回の訪問では、県産品がふんだんに使われていることに注目しました。

土

まずは、飛騨出身の左官職人挾土秀平氏の作品「岐阜に舞う」。縦4m×横10mの大作です。挾土氏が県内の土を使って、現場で一から創作されたそうです。

岐阜の土といえばタイルです。新庁舎では、様々なタイルが使われています。特に注目は、一階から三階に使われている「壁ボーダータイル」です。青い釉薬を手作業でかけて焼いたタイルをランダムに組み合わせたことで「揺らぎ」を感じさせます。お勧めは、議会棟エントランス受付右側の壁面です。

紙

国の重要無形文化財、ユネスコ無形文化遺産に指定されている「本美濃紙」を含む「美濃和紙」は、壁紙に使われています。特に注目は各階エレベータードア両側の「透かし文様の入った手漉き和紙」です。繊細な文様がバックライトで浮き上がると和紙の持つ温かさを感じられます、写真ではなかなか伝わらないので現地でお確かめ下さい。

人

前述の挾土氏ばかりではなく、実業家にしてモザイク壁画作家の矢橋六郎氏（大垣市出身）、人間国宝加藤孝造氏（瑞浪市出身）等の地元産業に根付いて芸術の華を咲かせた方々の作品も展示されています。

木

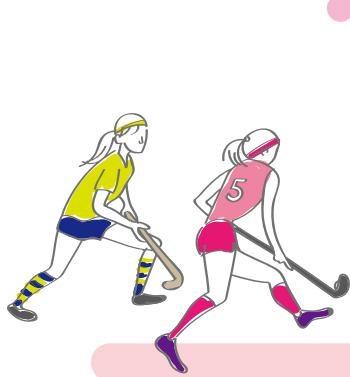
新庁舎では、多くの県産木材が壁材、柱材、ルーバー及び家具類等各所で使われています。総合受付カウンターの「千鳥格子組込み」や、壁・柱の「桧大和張り」の繊細さは見事ですが、お勧めは、議会棟二階ロビーの「桧天井木格子」です。無数の9cm角の木材が天井に取り付けられ、その隙間から照明の光が降り注ぐ様子はどこか幻想的です。

山と水

岐阜県は昔から「飛山濃水の地」と呼ばれ大変自然豊かなところです。農業のほか、土、木材、紙の産業が発展してきました。著名な芸術家ばかりではなく、無名のあまたの職人をこの「地」が育んできたのだと、二〇階の「清流ロビー」からの眺望で実感しました。

（文責・伊藤健介）





熱戦が繰り広げられたパリ五輪。

海外開催では史上最多のメダルを獲得したことも記憶に新しい。
代表選手の中には多くの岐阜県にゆかりのある選手がいました！
出身、所属、企業などの岐阜県ゆかりの選手を一覧にしてみました。
あの興奮を再び！！



※岐阜県出身ではない選手は、県ゆかりの所属を記述。年齢は開会式当日の満年齢。

ホッケー女子

◆永井友理 (ながい・ゆり)

32歳 各務原市出身
リオ、東京五輪出場 パリ五輪代表主将
ポジション：FW、MF
岐阜各務野高校、東海学院短大卒業
所属：ソニー HC

◆永井葉月 (ながい・はづき)

29歳 各務原市出身
リオ、東京五輪出場
ポジション：MF
岐阜各務野高校卒業、元ソニー HC
所属：茨城県境町

◆小川里佳 (おがわ・りか)

29歳 各務原市出身
五輪初出場ポジション：DF
岐阜各務野高校、駿河台大卒業
所属：ソニー HC

◆鈴木美結 (すずき・みゆ)

25歳 各務原市出身
五輪初出場ポジション：DF
岐阜各務野高校、山梨学院大卒業
所属：ソニー HC

◆長谷川美優 (はせがわ・みゆ)

22歳 島根県出身
五輪初出場ポジション：FW
島根県横田高校、天理大卒業
所属：ソニー HC

◆及川栞 (おいかわ・しほり)

35歳 岩手県出身
東京五輪出場ポジション：DF
天理大卒業、元ソニー HC
所属：東京ヴェルディ

◆鳥山麻衣 (とりやま・まい)

29歳 佐賀県出身
東京五輪出場ポジション：FW
佐賀・伊万里商（現伊万里実）高校、
東海学院大卒業
所属：南都銀行

◆小早川志穂 (こばやかわ・しほ)

25歳 島根県出身
五輪初出場ポジション：FW
島根県横田高校、東海学院大卒業
所属：コカ・コーラ

〈団体 予選リーグ敗退〉

自転車

◆橋本英也 (はしもと・えいや)

30歳 岐阜市出身
東京五輪出場競技：4000m団体追い抜き、マディソン
岐南工業高校、鹿屋体大卒業
所属：ブリヂストン

〈男子チームパシュート 10位〉

◆小原佑太 (おばら・ゆうた)

28歳 青森県出身
五輪初出場 24年のアジア選手権でスプリントを制した
青森県八戸工大一高校、朝日大卒業
所属：日本競輪選手会
〈個人 男子スプリント 6位〉

水球男子

◆足立聖弥 (あだち・せいや)

29歳 各務原市出身
リオ、東京五輪出場中学卒業まで大垣市クラブに所属
埼玉県秀明英光高校、日体大卒業
所属：イカイ Kingfisher'74

◆棚村克行 (たなむら・かつゆき)

沖縄県生まれ、東京都出身
リオ、東京五輪出場
東京都明大中野高校、筑波大卒業、元ぎふ瑞穂スポーツガーデン
所属：ブルボン KZ

〈団体 最終順位 11位〉

陸上

◆赤松諒一 (あかまつ・りょういち)

29歳 岐阜市出身
五輪初出場競技：走り高跳び
加納高校、岐阜大、岐阜大大学院卒業
所属：西武プリンス
〈5位（日本人で88年ぶりの入賞！）〉

アーチェリー

◆斉藤史弥 (さいとう・ふみや)

19歳 羽島市出身
五輪初出場
大垣西高校、日体大卒業
〈49位〉

総合馬術

◆戸本一真 (ともと・かずま)

41歳 本巣市出身
東京五輪出場、東京五輪では個人で日本勢過去最高の4位入賞
各務原西高校、明治大卒業
所属：日本中央競馬会
〈銅メダル！！〉



カヌー

◆田中雄己 (たなか・ゆうき)

22歳 中津川市出身
五輪初出場競技：
カヌースラローム カヤッククロス男子
中京学院大中京高校（現中京高）、
駿河台大
〈個人 14位〉

バドミントン

◆西本拳太 (にしもと・けんた)

29歳 三重県出身
五輪初出場全日本学生選手権3連覇
競技：男子シングル
埼玉栄高校中央大卒業
所属：ジェイテクト、元岐阜県協会
〈予選リーグ1位、決勝トーナメント進出
〈1回戦敗退〉

令和6年度 総会・懇親会のお知らせ

日 時：令和6年11月25日(月) 【総会】18時～18時20分 【懇親会】18時30分～20時

会 場：明治記念館 東京都港区元赤坂2-2-23 TEL：03-3403-1171

参加費：会員、非会員問わず、お一人様10,000円、ただし学生は無料

※開催通知は、改めてご案内いたします。

今年も盛大に開催 ぎふ長良川花火大会



フィナーレのスターマインは圧巻



この日を楽しみにしていた多くの観衆が県都岐阜を訪れた

大会は、岐阜市、岐阜商工
会議所、岐阜新聞社、中日新
聞社などの官民一体でつくる
実行委員会形式で開催。当日
は県内外から約12万人が訪れ
ました。

写真提供：岐阜新聞社

能登半島地震の被災者に思い
を寄せて打ち上げたスターマイン、
東海地方では最大級となる幅600mの超ウ
ルトラワイドスターマイン、
400mのナイアガラ花火
のシャワーなど多彩な花火
に観衆からは拍手やため息
が聞かれました。

大会テーマは昨年に続き
「平和に願いを込めて」。煙火
会社14社が、腕を競い合った
花火大会。石川県の名匠が
能登半島地震の被災者に思い
を寄せて打ち上げたスターマイン、
東海地方では最大級となる幅600mの超ウ
ルトラワイドスターマイン、
400mのナイアガラ花火
のシャワーなど多彩な花火
に観衆からは拍手やため息
が聞かれました。

第2回ぎふ長良川花火大会
が8月10日夜、岐阜市の長良
川河畔で開かれました。約
1万発の色鮮やかな花火が
次々と夏の夜空に上がり、観衆
を魅了しました。

岐阜県を舞台にした衝撃の新作短編
映画「アユラ」。現在制作中のこの作品
は、岐阜県の県魚である鮎が巨大化し、
街を襲うという斬新な設定で、注目を
集めています。監督の柴田晃宏氏は、
岐阜出身であり、岐阜の魅力を映像で
伝えることを目指しています。

物語は、岐阜県の県魚である鮎が突如
巨大化し、「アユラ」と呼ばれる怪獣と
なって街を襲うという設定です。主人公の
薫は普段は公務員として勤いていますが、
この危機に直面し、先輩の奈々美
から衝撃の事実を告げられます。「薫、
あなたには、本当の仕事があるー」という
セリフは、物語の展開を予感させます。

「アユラ」のデザインと特技監督を
務めるのは、CG制作会社の白組に所属
している上西琢也氏です。『シン・ゴジ
ラ』や『シン・ウルトラマン』などの大作

を手掛けた実力者であり、YouTubeで公
開された「ゴジラ VS ガイガレンクス」
で全世界1,000万回以上の再生を記録
しています。

この作品の撮影は、岐阜県内の実際
の場所で行われています。2023年9月
には100人以上の地元住民がエキスト
ラとして参加する大規模な撮影も実施
されました。地元の協力を得て制作さ
れているこの映画は、岐阜県の魅力を
新たな視点で描き出し、同時にエンタ
テインメント性も高い注目作といえる
でしょう。

「アユラ」は2025年初夏にYouTube
での配信が予定されており、多くの視
聴者がこの斬新な作品を楽しみにして
います。岐阜の魅力と独創的なストー
リーが融合した本作の公開が、今から
大いに期待されています。



【作品概要】

- 監督：柴田晃宏
- 共同監督・脚本：サノワタル
- 特技監督：上西琢也
- キャスト：山口ことね 高橋ゆな
長谷川愛美 新井敬太 桂七福
- 企画・製作：©東海制作
- コピーライト：©アユラ
- 宣伝：TOHOマーケティング
- 公式X（旧Twitter）：
https://twitter.com/AYURA_gifu

第39回 国民文化祭

岐阜県で25年ぶりの開催



文化の力で未来を創る「清流の国ぎふ」文化祭2024は、2024年10月14日から11月24日までの42日間、岐阜県全域で開催されます。

この文化祭は、第39回国民文化祭と第24回全国障害者芸術・文化祭を同時に開催する一大イベントです。「ともに・つなぐ・みらいへ～清流文化の創造～」をキャッチフレーズに掲げ、文化芸術を通じて人々をつなぎ、未来へ向けた新たな文化の創造を目指します。岐阜県にとって、国民文化祭は25年ぶり2回目、全国障害者芸術・文化祭は22年ぶり2回目の開催となり、地域文化の振興に大きな期待

が寄せられています。

この文化祭は4つの基本方針を掲げています。第一に、「清流の国ぎふ」の文化力を結集・発信します。県民総参加で文化芸術活動の成果を示すとともに、岐阜県固有の自然、歴史、伝統、技術など、持続可能な地域資源の魅力を国内外に発信します。第二に、次世代を見据えた文化芸術の創造を目指します。コロナ禍で縮小した文化活動を再始動させ、デジタル技術を積極的に活用して新たな文化芸術の価値を生み出します。第三に、文化芸術で人が輝く共生社会の実現を図ります。年齢、性別、障がいの有無に関わらず、誰もが文化芸術に親しめる環境を作り、一人ひとりが輝ける社会を目指します。最後に、国民文化の大交流の実現を目指します。日本の中心に位置する岐阜県の地理的特性を活かし、国内外から多くの人々が集まる文化交流の場を創出します。

この文化祭は、単に芸術を楽しむだけでなく、地域の持続可能な発展、デジタル時代における文化の新たな可能性、共生社会の実現、そして国民的な文化交流の促進など、多面的

な目標を掲げています。42日間にわたるこの祭典は、岐阜県の文化的魅力を発信するとともに、日本の文化芸術の未来を探る重要な機会となることでしょう。

岐阜県の豊かな自然と文化を背景に、多様な人々が集い、交流し、新たな文化を創造する「清流の国ぎふ」文化祭2024。この祭典が、文化の力で人々をつなぎ、明るい未来を切り拓く契機となることが期待されています。

(文責:山下 章)



岐阜市の長良川国際会議場で開かれた開会式では、部長実行委の小林由奈委員長が大会挨拶。総合開会式には秋篠宮ご夫妻と長女、悠仁さまがご臨席。式典後のパレード部門では、ぎふ総文イメージソング「集え青き春 清流の国へ」を会場全員で歌つた。来年の開催地は香川県。

(文責:荒垣さやこ)

文化部のインターハイぎふ総文

全国の高校生2万人が集結して芸術文化活動の祭典「清流の国ぎふ総文2024」(第48回全国高校総合文化祭)が7月31日から8月5日まで開催された。これはいわば「文化部の甲子園」。県内15市町村を舞台に演劇、合唱、吹奏楽、器楽・管弦楽、日本音楽、吟詠剣詩舞、郷土芸能、マーチングバンド、バトン、ワーリング、美術・工芸、書道、写真、放送、囲碁、将棋、弁論、小倉百人一首かるた、新聞、文芸、自然科学など22部門で日頃の活動の成果を披露。高校生2万人がステージ発表や作品展示、対戦競技で活躍した。岐阜県での開催は1984年以来で、2回目の開催は全国初。推定観客数は約10万人。総合開会式などの大会運営は県内の高校生有志でつくる生徒実行委員会が主体的に担った。

岐阜市の長良川国際会議場で開かれた開会式では、部長実行委の小林由奈委員長が大会挨拶。総合開会式には秋篠宮ご夫妻と長女、悠仁さまがご臨席。式典後のパレード部門では、ぎふ総文イメージソング「集え青き春 清流の国へ」を会場全員で歌つた。来年の開催地は香川県。

ギフネット79号で紹介した岐阜県出身の俳人・小説家
瀧井孝作の若き日を描いた映画『初めての女』。
6月22日に公開初日を向かえ、いよいよ全国順次公開！

初めての女

俳人・小説家瀧井孝作生誕130年

まだ何者でもない青年が経験する『はじまりの物語』
私小説『俳人仲間』の一編「初めての女」の映画化

明治末期の高山。瀧井孝作は家業が傾いたことから丁稚奉公に出され、窮屈な日々を過ごしていた。幼い頃に兄と母を亡くし、寂しい孝作の心の拠り所は俳句を作ること。俳句仲間たちと句作に励んでいたある日、西洋料理店の女中・玉三味線芸者の菊と出会う。孝作は今までにない感情に突き動かされた。本作は飛騨高山に残る歴史ある古い街並みや雄大な自然を舞台に、若かりし頃の瀧井孝作が経験する俳句仲間との青春、西洋料理屋の玉と三味線芸者の菊との初めての恋を通して青年が人間として成長していく様を描く。

原作は志賀直哉に兄事し、芥川賞の選考委員を創設以来46年間務めた俳人・小説家である瀧井孝作が晩年に執筆した私小説『俳人仲間』の一編「初めての女」（日本文学大賞受賞作品）。『俳人仲間』の中でも瀧井が生まれ育った高山で様々な人と出会い、青年の成長を描いた作品を映画化。奇しくも、本作の公開年は瀧井孝作が生誕してから130年の年である。

◎全国順次公開！

本作品は6月22日に渋谷のユーロスペースで公開初日を向かえた。これからは全国の劇場で公開拡大となる。その様子は、ぜひ公式サイトでチェックして欲しい。

（文責：羽石龍平）



公式サイト

初日舞台挨拶の様子（ユーロスペースにて）



【俳人・小説家 瀧井孝作とは？】

瀧井 孝作（たきい こうさく）

1894年4月4日-1984年11月21日

日本の俳人・小説家であり、俳号は折柴である。明治27年、岐阜県生まれ。高山尋常小学校に入学後、母親が病没した12歳の時に高山町の魚市場の店員となる。家族が相次いで亡くなった後、魚問屋の隣家の柚原畦童に俳句を学ぶ。

その後、高山を訪れた河東碧梧桐に出会い、俳句の指導を受ける。やがて大阪に出て、特許事務所に勤めるかたわら作句や散文執筆に励む。大正3年に上京。翌年、俳誌「海紅」の編集助手となり大正8年、碧梧桐の紹介で時事新報社文芸部記者となる。

芥川龍之介を識り、面会日に訪ねて創作の勉強をはじめる。大正9年「改造」の記者となり、この時初めて志賀直哉を訪問。以降、志賀直哉を生涯の師と仰ぐようになる。

Tokyo ★ 違う自分に出会ってみよう！

法政大学 法学部 国際政治学科

岐阜県学寮 3年

岡田 拓也



3日間5公演のために1年かけて一緒に準備してきた仲間たちと

改めてこの2年半を振り返ってみると、いろんなことに挑戦してきたなと思います。まず大学に入つてすぐ英語ミュージカルを始めました。僕はそれまでスポーツしかやってこなかった人間ですが、「なんかワクワクする」と自分の直感を信じて演劇の世界に飛び込んでみました。これがやつてみると楽しいんですよ！

舞台メイクを施し、コスチュームを着る。なんか恥ずかしい。でも仲間と3ヶ月間週5で稽古してきたことを思い出して、舞台に駆け出しへボットライトを浴びれば…自分ではない誰かに生まれ変わった不思議な感覚。すっかり演劇の世界に入り込んでしまいました。



万里の長城にて



オーストラリアの動物園にて

ちなみにその英語ミュージカルは本番のみならず、日々のリハーサルやミーティング、さらには稽古が終わりみんなで食事する時も、電車で帰路についている時も、全て英語で話さないといけません。ファミレスや電車の中でみたまに日本同士なのに英語で会話している集団がいたら僕たちかも（笑）。

うとしています。

最初は苦労しましたが、今ではダンスも歌も英語も大好きです。すっかり自信がついた私は、北海道のニセコでリゾートバイトをしたり、ベトナム、中国、オーストラリアへ長期休暇を使って遊学したりするようになります。また現在住んでいる岐阜県学寮内では、委員長として寮生全員が住みやすい環境を作りました。岐阜からこんな人間もいるんだなと知つていただけたら嬉しいです。では！

活動報告



フェローシップ委員会

フェローシップ委員会は、引き続き幅広い入会者の募集に努めています。最近の会員数は、2024年7月末現在で個人会員443名(法人会員)には、年2回の会報「ギフネット」の配布をはじめ、各種イベントを通じて東京岐阜県人会の魅力を知つてもらい、会員増強につなげた。

会員は27社)ですが、東京岐阜県人会の健全な発展のためには更なる会員の増強が最重要です。フェローシップ委員会は、在京岐阜サミット(在京同窓団体の集まり)を通じた在京同窓諸団体との連携強化のほか、東京岐阜県人会のホームページや東京岐阜県人会を紹介するパンフレットの活用により、入会勧誘活動を機動的に行って参ります。

会員には、年2回の会報「ギフネット」の配布をはじめ、各種イベント(年次総会後の懇親会、講演会、勉強会等)へのご案内が送られます。各種イベントを通じて交流関係を拡げられるということが大きな魅力の一つです



フェローシップ委員会は、毎年の楽しみになっています。2023年11月21日の年次総会及び懇親会が開催され、多くの出席者で賑わいました。

フェローシップ委員会は、2024年3月31日の砧公園(世田谷区砧公園・大蔵一丁目)での観桜会及び6月8日の東京臨海広域防災公園「そな工リア東京バーベキュー」(東京都江東区有明3-8-35)でのバーベキュー大会のほか、有志にて、5月26日にサバイバルゲームフィールドSEAL's(千葉市若葉区小倉町1336番地)で

のサバイバルゲーム大会を開催し、7月27日にはカボ・ペリカーノ(東京都文京区本郷7-13-1東京大学医学部教育棟13階)での隅田川花火鑑賞会(共催)を開催しました。

フェローシップ委員会は、引き続

いと考えております。

東京岐阜県人会を通じて、郷土の歴史や名所を再認識したり、郷土の物産を再発見したり、同郷の方々との親交を深めたりすることにより、会員の皆様の東京での日常の生活に彩りを添えることができれば幸いです。ギフネットのバックナンバーは東京岐阜県人会のホームページでご覧になれます。

東京岐阜県人会の入会資格は、岐阜県出身者のみならず岐阜出身者の縁故であればよいということになりますので、ご縁のある方に気軽に入会の声を掛けていただきたいと思います。会員登録は、郵送、ファクシミリ、インターネットで行つ)どができます。詳細は、東京岐阜県人会のホームページ <https://ap.gifu.org/tokyo/index.php> をご覧下さい。

広報委員会

(杉野由和)

東京岐阜県人会の行事や事業の情報をおいち早く提供し、会員同士の交流や、新規会員の入会につながられるよう活動しています。

今年は会報誌「ギフネット」80号(春夏号)を出しました。

7月23日には未だ200m上ながら広報委員会を開催し、81号(秋冬号)の内容を審議しました。

DX委員会では、ホームページの更新運営を中心活動しています。2017年にスマホからも閲覧可能なで親しみやすいホームページを目指して、内容や構成を全面的に刷新しました。現在は、年間で閲覧回数が2万件以上、7千人以上の方に訪問頂いています。

今後、更なる内容の充実を目指し、「関東グルメ&ショッピング」の内容を増やして行きたいと思います。関東にある岐阜県ゆかりのグルメやショッピングの情報があれば、ぜひご紹介ください。ホームページを通じて情報共有して行きたいと思います。情報提供は、「お問い合わせ」ページから気軽に投稿ください。



関東グルメ&ショッピング



お問い合わせフォーム



同窓会に行こう!!

長らくご無沙汰していた故郷へのきずなをぜひ再構築してみませんか。

次号は4月上旬発行となります。皆様の投稿をお待ちしております。(投稿先: gifukuenjin-tky@poppy.ocn.ne.jp)

多治見北高校 東京支部 同窓会

2024年度 多治見北高校東京支部同窓会総会 <ご案内> 23回生キャリア・アップの軌跡～北高を卒業して40年～

私たち23回生は、1983年に北高を卒業し、大学、そして1987～1989年の日本経済バブル絶頂期に社会人キャリアをスタート。北高の校舎と共に学び、虎渓山を走り回った私達。北高卒業後は、各々の道で、笑ったり、悩んだり、苦しんだり、喜んだり、それぞれが人生の主人公で沢山の試練や成功を積み重ねてきました。

今年はちょうど還暦を迎えます。私たちが就職した頃は、終身雇用があたり前、最初に入社した会社に骨を埋めるのが普通と考える時代でした。もちろん転職など考えることもなく、年功序列にしっかりと会社への貢献を積み重ねていくのが王道とされる社会でした。一方で、男女雇用機会均等法施行の第一期生として女性もキャリアをスタート。「一般職」「総合職」という言葉が生まれました。また、当時は、女性は「クリスマスケーキ」と呼ばれ、24歳過ぎたらたたき売り、とばかりに親からはことあるごとに結婚を説得され、子供0歳で仕事に復帰する際には「可哀そうに...」と周りの多くから眉をひそめられた時代でした。今でこそ、「女性活躍云々」と言われていますが。

その後「失われた30年」の中では、1990年代後半に金融危機が訪れて多くの会社が倒産しました。銀行大再編で13行あった都市銀行は、今は整理淘汰されて、メガバンク3行に集約されました。そしてリーマン・ショック。一方で、日本の経済とは対照的にアメリカでは、現在のインターネットやGAFAMと言われるプラットフォーマーの台頭をはじめとする新たなビジネスモデルが生まれ、その波を受けて日本経済も大きく変化してきました。

社会はますます加速度的に変化しています。新聞や漫画雑

誌を持って通勤電車に乗っていた時代から、スマホ片手に通勤するようになり、さらにはコロナ禍によりリモートワークもすっかり定着し、勤務形態も多様化する生活へと変化してきています。

こうした環境変化によって、私たちの生活も意識も大きく変わった40年。その40年を北高魂で走り抜けてきた私達23回生のキャリアを、チームアプローチ構成で複数名のリレートークでご紹介します。これから40年に向けて。

＜開催要項＞

【日程】2024年11月23日(土・祝) 15:00開始(14:30受付開始)
15:00-17:00 総会・フォーラム／17:00-19:00 懇親会

【会費】8,000円

【会場】グレースバリ新宿本店 6F「ルフル」
〒160-0021 東京都新宿区歌舞伎町1-3-16
パセラリゾーツビル 6F (電話番号: 03-6747-9930)
⟨URL⟩ <https://www.grace-bali.com/shop/shinjuku/enkai/>
※エレベーターが一基しかありませんので、時間に余裕をもってお越しください。

【地図】



(理事: 阿部 仁美)

理事長 岸田 哲哉

【本部事務局】〒501-10001
岐阜市三田洞東一丁目二十番三号
TEL ○五八(1337)六二二二
FAX ○五八(1337)七五〇九【東京支局】東京都世田谷区深沢六一八一〇一三〇一
https://gifu42.net

美濃紙業株式会社

顧問

近藤征雄

〒121-0100
東京都足立区千住東二一三三一三
TEL ○三(3882)四九二二
FAX ○三(3888)六四三九総合解体業
株式会社八起グループ

佐々木 宏幸

長森中学校卒業生

〒134-1008
東京都江戸川区葛西一七一六二三〇一
TEL FAX ○三(5680)八八三七六
携帯電話 ○八〇(5055)六四一七聖マリアンナ医科大学 呼吸器外科
主任教授

佐治久

宮田栄子

瑞浪高校首都圏同窓会 幹事長

弁護士・弁理士(シティユーワ法律事務所)
金沢工業大学大学院
イノベーションマネジメント研究科教授

棚橋祐治

〒100-0005
東京都千代田区丸の内一七一二
サビアタワー石油資源開発株式会社
TEL ○三(6268)七〇一〇

中村・椎名法律事務所

弁護士 中村治嵩

〒107-0051
東京都港区新青山一
俳優座公演「あねさきの風」高松潤演出 三月
新青山ビル西館十階
TEL ○三(6384)五四六四
FAX ○三(6384)五四六四

取締役会長 宮田博之

東京岐阜県人会の会長職が吉村泰典前会長から林信秀新会長へとバトンタッチされた。吉村前会長は松田隆利元会長が安倍政権のアドバイザーに就任されたことで急遽会長職を継がれ、新型「コロナ」という未曾有の危機もあるなか10年にわたって本会を率いてこられた。長年のご苦労に対し心より御礼申し上げます。

さて、岐阜ではこの夏「コロナ後最大規模の花火大会が開かれ、また秋には25年ぶりの総合文化祭、22年ぶりの全国障害者芸術・文化祭が開催される。全国から数多くの才能ある人たちが岐阜県各地につどい交流するには得難い機会に違いない。

先日、「博物館浴でリラックス?」という新聞記事に目が留まった。博物館・美術館を見学する何となく気分が落ち着く――という事実らしく、実際に実験してみると怒り・疲労・緊張・混乱・抑うつのネガティブ数値が下がる傾向にあるという。

さらに、文化芸術の鑑賞機会の多い地域住民は、そうでない人に比べ死亡率が低く、日常生活のストレスで交感神経が緊張している中、芸術をゆっくり鑑賞することでリラックスし、脈や血圧が安定する効果があるとのこと。ちなみに文科省によると博物館の利用は国民一人につき年間1、2回(たつた!)なのだそうだが、

とも、11月後半まで開催の「清流の文化探訪 南飛騨アート・ディスカバリー」で内外の芸術家の作品を観てみたいと思う。

平成プロジェクト

映画・コンテンツ製作プロデューサー
代表取締役・CEO・Producer益田祐美子
MASUDA YUMIKO

http://heisei.pro E-mail:yuri112@itcom.net

株式会社平成プロジェクト

本社 〒102-0092 東京都千代田区東3-19 清水ビル2階
TEL:03-3261-3970 FAX:03-3261-3971
飛驒高山事務所 〒506-0818 岐阜県高山市名石町4377

竹文化振興協会

理事・岐阜支部長
亀山光昭〒153-0064 東京都目黒区下目黒4-1-12
TEL・FAX 03-3793-6716

<順不同>

地域住民は、そうでない人に比べ死亡率が低く、日常生活のストレスで交感神経が緊張している中、芸術をゆっくり鑑賞することでリラックスし、脈や血圧が安定する効果があるとのこと。ちなみに文科省によると博物館の利用は国民一人につき年間1、2回(たつた!)なのだそうだが、

とも、11月後半まで開催の「清流の文化探訪 南飛騨アート・ディスカバリー」で内外の芸術家の作品を観てみたいと思う。

広報委員長 荒垣さやこ



「清流の国ぎふ」文化祭 2024

ともに・つなぐ・みらいへ ~清流文化の創造~

10月14日(月・祝)～11月24日(日)

誰もが多彩な文化芸術に
親しむことができる祭典です。
期間中は県内全42市町村で
333の文化イベントを開催します。

pick up

清流の国 文化探訪「南飛騨 Art Discovery」



開催期間 10月19日(土)～11月24日(日)

場 所 南飛騨健康増進センター一帯
(岐阜県下呂市萩原長四美1557-3)

地域資源を掘り起こし、アートの力によって地域に新しい価値を見出すアートプロジェクトを下呂市で開催します。約20組のアーティストによる作品の展示、パフォーマンスイベントを実施するほか、体験型・交流型マルシェなども開催します。

pick up

海外・国内大交流プログラム～踊りでつながる岐阜と世界～

開催期間 10月19日(土)

場 所 JR岐阜駅前 信長ゆめ広場
(岐阜県岐阜市橋本町1)

会場では誰でも参加できる郡上踊を開催。国や言語を超えて踊りの輪をつなぎましょう。ユネスコ無形文化遺産に登録された「風流踊」や、海外の伝統あるダンス・音楽も披露します。海外各国を訪問しているお笑い芸人・みやぞんも登場します。

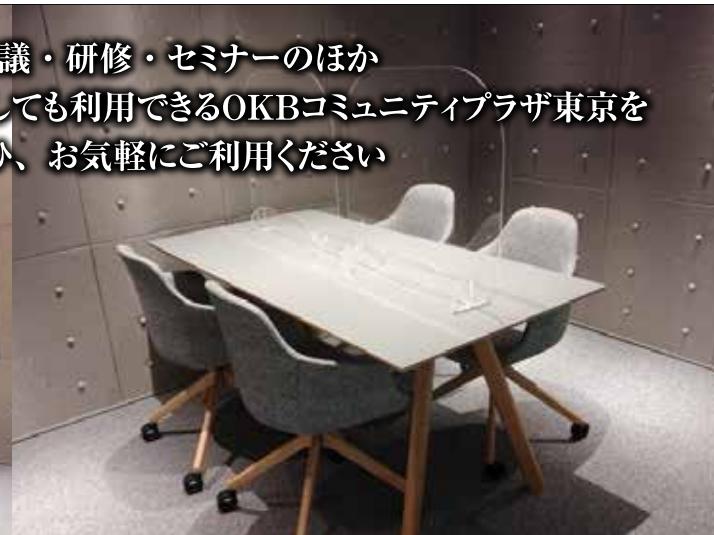


詳しくはガイドブックをチェック▶



OKB
コミュニティプラザ
東京

OKB東京支店では会議・研修・セミナーのほか
ワーキングスペースとしても利用できるOKBコミュニティプラザ東京を
併設しています! ぜひ、お気軽にご利用ください



利用方法など

- 1名専用ブースや最大24名で利用できるミーティングルームなど、4タイプからお選びいただけます
- ご利用にあたっては所定の料金が必要です
- お申し込みはOKBに口座をお持ちの方に限ります
- お申し込みやご利用方法などについてはOKB大垣共立銀行 東京支店までお問い合わせください

詳しくはこちら



東京駅
八重洲口より
徒歩10分

OKB 大垣共立銀行

東京支店 TEL 03-5159-7000

東京都中央区京橋一丁目12番5号(京橋YSビル2階)